

## 中央カレンダー

2025							2026							
MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4	
8		9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
15		16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
22		23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
29		30	31					26	27	28	29	30	31	

## ●イベント・展示会

12/3~12/14	つながるアート展 2025
12/4	満月の絵本セラピー ～絵本で大人のクリスマス～
12/6	聴導犬に会いに行こう！
12/10	バリアフリー映画会
12/14	つるがしま郷土かるた大会 主催：鶴ヶ島市子ども会育成会連絡協議会

12/17 ヒッポファミリークラブ  
12/27 子ども図書館座シネマ

1/15 図書館座シネマ

切り絵/渡辺 洋子さん→



◆中央図書館  
〒350-2223  
鶴ヶ島市高倉 1247-1  
☎049-271-3001  
①火～日曜日  
午前 9 時～午後 7 時  
※月曜日が祝日にあたる  
場合は開館

◆若葉駅前カウンター  
〒350-2201  
若葉ウォーク 1 階  
若葉駅前出張所内  
①月～日曜日  
午前 9 時～午後 9 時

## 分室カレンダー

分室	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
東	休	休	○	休	○	○	○
西	休	休	○	○	休	○	○
南	休	休	○	休	○	○	○
北	休	○	休	休	○	○	○
富士見	休	○	休	○	休	○	○
大橋	休	○	休	○	休	○	○

## 図書館だより

12・1

No.255

鶴ヶ島市立図書館  
Tsurugashima Public Library

## 12・1月の臨時休館予定

月	火	水	木	金	土	日
12/1	2	3	4	5	6	7
8	9 富士見 休館	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22 駅前カウンター 休館	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1/1	1/2	1/3	1/4

※12/9 施設点検のため

※12/22 図書館電気設備点検のため

※12/29-1/3 年末年始のため

※12/28-1/4 年末年始のため

## ◆年末年始休館のブックポストのご案内◆

年末年始の休館期間中は

**中央・西分室のみの受付となります。**

その他の分館では返却受付をしておりません。

ご了承ください。

## 各館定休日

中央	月	東	月・火・木
西	月・火・金	南	月・火・木
北	月・水・木	富士見	月・水・金
大橋	月・水・金	駅前	定休日なし

## 鶴ヶ島市立図書館公式 SNS

X: @ t\_roncyan

Facebook: @tsurugashimalibrary

鶴ヶ島市立図書館

## ◆図書館ホームページ

<https://www.tsurugashima-lib.jp/>

※右の QR コードからご利用いただけます。



▲ホームページ

2025年  
10月25日

## ご参加いただいた皆様

来場者総数  
3563人



ありがとうございました！

2025年  
10月26日

マーケット  
総数  
40店舗



栄養大学（坂戸市）に三等三角点「大塚野」がある。「大塚野」は現在の富士見地区の旧称で、陸軍坂戸飛行場の建設によって消滅した大字である。現在の三角点は大学一号

近代的な測量によって日本の正確な位置を求め、地図を整備することは、近代日本的重要な国家的プロジェクトの一つだった。明治5年に東京で初めて三角測量が実施されてから、測量の基準点として、三角点が日本全国に設置されていった。

三角測量では、2地点間の長さを正確に測った基線にもう1点を加えた三角形の内角を測ることで、計算により三角形の大きさと形を求める。この方法により、基準点間の長さが約45kmの三角点網で全国を覆つたのが一等三角網である。続いて三角点間の距離を8km（二等三角網）、

4km（三等三角網）と段階的に狭めて全国を細かな三角網で覆い、地形図がつくれられていった。三角測量では三角点同士を互いに観測する必要から、特に一等三角点では見通しの良い山頂に多いが、その他にも平野部や建物の屋上など様々な場所にあり、その数は10万点を超える。

鶴ヶ島市内には、二等三角点「高倉」が一つ設置されている。明治33年に設置されたもので、花崗岩の標石に右書きで「二等」、その下に縦書きの旧字で「三角點」と彫られている。このほかに鶴ヶ島駅西口ロータリー内（川越市）に四等三角点「鶴ヶ島」、女子

館の屋上にあるが、元は昭和15年に同地に設置されており、陸軍飛行場の建設時に設置されたものと思われる。（文：写真／市之瀬）



参考文献  
『よくわかる測量』海津優 著 令和3年  
基準点成果等閲覧サービス(<https://service.gsi.go.jp/kijunten/app/>)

## 鶴ヶ島風土記

# 新刊紹介

内容紹介文はTOOLiより引用

一般

## 絶滅しそうな世界の文字

ティム・ブルックス／著 河出書房新社 2025.10  
黒輪 篤嗣／訳 請求記号：801.1 テ



夢の啓示で生まれた文字、奴隸貿易の暗号だった文字、民族独立象徴の文字…。世界中の消滅危機にある83の文字の歴史と現況を、現地調査に基づき描出。文字の成立にまつわる宗教や神話の情報も多数収録する。

児童

## サンタクロースの子どもたち

ながしま ひろみ／著 岩崎書店 2025.10  
請求記号：913.6 ナガ



サンタクロース育成学校に入学した双子のホシとスイ。個性ゆたかな大人たちと出会い、たくさんの学びのなかで、「プレゼントを贈ること」の本当の意味を見つけていき…。夢の学校を舞台に描く、心にひびくファンタジー童話。

ティーンズ

## 13歳からの哲学探究

堀越 耀介／監修 メイツ出版 2025.10  
請求記号：100 ホ



問い合わせを立て考えるチカラを育むことで、あたらしい自分と出会おう！哲学とは何か、なぜ哲学を学ぶのかを解説し、哲学的な問い合わせを立てるコツを紹介。グループになって考える「哲学対話」という方法についても説明する。

# つながる 2025 アート展

期間：12月3日(水) ▶ 14日(日)

毎年恒例の『2025年つながるアート展』開催いたします。  
今年も、子どもから大人まで楽しめる、感性豊かな作品が展示されています。  
どうぞお立ち寄りください。

昨年展示の様子



関連イベント①

## 『聴導犬に会いに行こう！』

12月6日(土) 13時00分～15時00分 定員30人

聴覚障害者の生活をサポートしている聴導犬についての講演会です。PR犬によるデモンストレーションを中心に、聴導犬のお仕事や音を知らせてくれる仕組みをわかりやすくお伝えします。  
☆当日は手話通訳とUDトークがあります。



ゲッズ販売  
ふれあいコーナーも  
あるよ！

関連イベント②

## バリアフリー映画会 バリアフリー音声ガイド・字幕付き NHK ドラマ『しづかちゃんとパパ』1話・2話

12月10日(水) 13時00分～15時00分 定員30人



父子家庭で、ろう者である父の耳代わり口代わりを務めてきた娘が、ふとしたきっかけで出会った男性と結婚するまでの親離れ子離れの物語を温かく描くホームコメディ。2022年3月から放送されたテレビドラマの1話、2話を上映します。

関連イベント申込：中央図書館へ直接・電話・FAXまたはホームページにて受付9時00分～定員に達するまで

## 図書館配架ボランティア紹介

図書館配架ボランティアとして活躍している方々を3つの質問と共に紹介します！

Q1.図書館ボランティアに参加してみようと思ったきっかけはなんですか？

Q2.やっていて大変なこと、あるいは楽しいことなどはありますか？

Q3.配架以外にボランティアとしてやってみたいことはありますか。

または、図書館の仕事で気になっていることはありますか？



A1. 子どもの頃から図書館が大好きでした。

A2. 楽しいことは利用者さんと本などの話をすることです。

A3. 本の場所を案内してあげたいです。検索機で調べて一緒に探したりしたいです。



A1. 何か自分でも地域に貢献できることがあればと思っていたので。

A2. 本が重くて腰が痛いこともありますが、好きな本に囲まれているのはとても幸せです。

A3. 本の装備・修理。



A1. 歳を取っても大切な事は、キョウヨウとキョウイクだと聞きました（今日用がある、今日行く所がある）。素晴らしい図書館に「所属」させていただいている事に館長さんを始め、職員の方々に感謝しています。

A2. 本が正しい場所にあることが図書館の基本だと思いますので、達成感があります。歩くので健康に良いし、頭も使うので認知症予防にも良いと感じています。

A3. 書籍に触れると人間の英知の凄さを感じます。配架すれば内容を理解できるわけではありませんが、刺激にはなります。続けていきたいと思っています。



A1. 子どもの頃から本が好きで印刷会社に勤務しました。

リタイア後、今までとは違う形で本に関わることがしてみたいと思いました。

A2. 本の配架は思っていたより重労働ということです。1冊入れるスペースを作るために何冊も移動しなければいけません。

色々な本があること利用者さんとの出会いが面白いです。

A3. 本の修理（不器用なので向いているか分かりませんが）